中3 社会 公民 問題（経済・国際社会） 穴うめ（20問）　版M

なまえ：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　　日づけ：＿＿＿＿＿＿

（　　）に入る言葉を、右の欄に書きましょう。

(1) 消費者の権利と自立の支援を定めた法律が（　　）である

(2) 需要と供給の量が一致したときの価格を（　　）という

(3) 生産者から仕入れた商品を小売店に売る仕事を（　　）という

(4) 家族や個人の経済のまとまりを（　　）という

(5) 団結権・団体交渉権・団体行動権をまとめて（　　）という

(6) 会社の株式を持っている人を（　　）という

(7) 新しい技術やアイデアで事業を始めた企業を（　　）という

(8) 勤めた年数に応じて賃金が上がるしくみを（　　）という

(9) 40歳以上が保険料を納め介護サービスを受けるのが（　　）だ

(10) 国が借金のために発行する債券を（　　）という

(11) 紙幣を発行する役割から、中央銀行は（　　）とよばれる

(12) 税を納める人と負担する人が異なる税を（　　）という

(13) 外国の通貨に対して円の価値が低くなることを（　　）という

(14) 商品がよく売れて景気がよい状態を（　　）という

(15) 国際連合で世界の平和と安全を守る中心の機関が（　　）だ

(16) 国際的な問題に取り組む、政府から独立した団体を（　　）という

(17) 2015年に採択された温暖化を防ぐ国際的な取り決めが（　　）だ

(18) 先進国と発展途上国の経済格差の問題を（　　）という

(19) 領域と国民を持ち、他国に支配されない国を（　　）という

(20) 教育・科学・文化の協力で平和をめざす国連の機関が（　　）だ

中3 社会 公民 問題（経済・国際社会） 穴うめ（20問）　版Mの答え

※ 漢字でもひらがなでも正解です。答えの下の（ ）内の言い方でも正解です。

（　　）に入る言葉を、右の欄に書きましょう。

(1) 消費者の権利と自立の支援を定めた法律が（　　）である　消費者基本法

(2) 需要と供給の量が一致したときの価格を（　　）という　均衡価格

(3) 生産者から仕入れた商品を小売店に売る仕事を（　　）という　卸売業

(4) 家族や個人の経済のまとまりを（　　）という　家計

(5) 団結権・団体交渉権・団体行動権をまとめて（　　）という　労働三権（労働基本権 でも正解）

(6) 会社の株式を持っている人を（　　）という　株主

(7) 新しい技術やアイデアで事業を始めた企業を（　　）という　ベンチャー企業（スタートアップ でも正解）

(8) 勤めた年数に応じて賃金が上がるしくみを（　　）という　年功序列賃金（年功序列 でも正解）

(9) 40歳以上が保険料を納め介護サービスを受けるのが（　　）だ　介護保険（介護保険制度 でも正解）

(10) 国が借金のために発行する債券を（　　）という　国債（公債 でも正解）

(11) 紙幣を発行する役割から、中央銀行は（　　）とよばれる　発券銀行

(12) 税を納める人と負担する人が異なる税を（　　）という　間接税

(13) 外国の通貨に対して円の価値が低くなることを（　　）という　円安

(14) 商品がよく売れて景気がよい状態を（　　）という　好況（好景気 でも正解）

(15) 国際連合で世界の平和と安全を守る中心の機関が（　　）だ　安全保障理事会（安保理 でも正解）

(16) 国際的な問題に取り組む、政府から独立した団体を（　　）という　NGO（非政府組織 でも正解）

(17) 2015年に採択された温暖化を防ぐ国際的な取り決めが（　　）だ　パリ協定

(18) 先進国と発展途上国の経済格差の問題を（　　）という　南北問題

(19) 領域と国民を持ち、他国に支配されない国を（　　）という　主権国家

(20) 教育・科学・文化の協力で平和をめざす国連の機関が（　　）だ　ユネスコ（UNESCO・国連教育科学文化機関 でも正解）

free-print.net ｜ 社会 公民 問題（経済・国際社会） 穴うめ 版M ｜ 学校・塾での配布OK ｜ 答えの出どころ：法令（e-Gov法令検索）・教科書